

# 体育科学習指導案

平成25年11月22日(金) 5校時  
石垣市立平真小学校 5年2組  
男子19名 女子20名 計39名  
授業者 兼松 宏吏

## 1 単元名 跳び箱運動

## 2 単元のねらい

- 跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、基本的な支持跳び越し技を安定して行うとともに、その発展技を行なうことができる。【技能】
- 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができる。【関心・意欲・態度】
- 自己の能力に適した課題解決の仕方や技の組み合わせを工夫できる。【思考・判断】

## 3 運動の特性

### (1) 一般的特性

いろいろな跳び方で跳び箱を跳び越すことが楽しい運動である。自分にあった高さや向きの跳び箱を気持ちよく跳び越したり、新しい跳び方に挑戦して跳び越したりすることができるようになったときに、大きな喜びが得られる運動である。

### (2) 児童から見た特性

跳び箱運動のおもしろさは、「助走を生かして強く踏み切り、腕で支持して飛び越し、安定した着地ができるかどうか」である。高学年では、さらにいろいろな技でも大きくダイナミックな安定した動作で跳び越し、びたりと着地することができるかどうかにおもしろさを感じる。

## 4 児童の実態

本学級は、体育学習に意欲的に取り組み、休み時間にはサッカーやハンター（鬼ごっこ）などに親しむ児童が多い。しかし、中には外遊びを好まない児童もいる。そのため体育館使用学年や運動場使用学年の割り当ての日には、教室以外で体を動かして遊ぶように声かけをしている。

体育アンケートの結果を見ると「体育が好き」と答えた児童が大半をしめた。その理由として「運動が好きだから」、「技を覚えられる」などの理由が多かった。しかし、「嫌い」と答えた児童もおり、その理由として「運動が苦手」や「体力がないから」と答えている。

「体育の中でどんな学習がすきですか」という質問には、「水泳」、「ドッジボール」、「サッカー」などが上位にあげられた。また、「跳び箱が好き」という児童も多くその理由として「ジャンプするのが楽しい」や「跳べたときの達成感」と答えた児童もいた。「嫌い」と答えた児童の中には、「跳ぶのがこわい」という理由があげられていた。跳び箱で楽しい、嬉しいと感じるときは、「跳べたとき」が圧倒的に多く、達成したときの喜びが強いようである。さらに「高い段を跳ぶこと」や「自分の記録に挑戦するとき」という答えもあり、跳びたい、挑戦したいという意欲は高いと感ぜられる。逆に楽しくないときは、「跳べないとき」が大半となっており苦手意識や嫌いという感情の要因になっていると考えられる。

「跳び箱でできるようになりたいと思う技は何ですか」という質問には、「台上前転」が1番多く、次いで、「ひじ曲げ前方倒立回転跳び」、「首・頭はね跳び」、「抱え込み跳び」の順となっていた。

「跳び箱の学習でどんな授業をしてほしいか」という質問には、「跳べそうな所で挑戦したい」、「楽しい授業」、「安全な授業」、「跳び箱のコツがわかる授業」と答えている。

「体育の授業で友達のアドバイスがある方がいいか」という質問には、「アドバイスがある方がいい」と答える児童が多かった。「アドバイスをするとき欲しい道具があるか」の質問には「タブレット端末を使いたい」と言う児童が大半であった。また、「タブレット端末を使うとどんなアドバイスができそうですか」という質問には「映像を一緒に見ていいアドバイスができそう」という答えが多かった。

### 体育アンケートの結果

| 質問                             | 結果  |  |
|--------------------------------|---|--|
| ①体育は好きですか                      | 好き：29人<br>・運動が好きだから<br>・ノートを使わないから<br>・技を覚えられる<br>・跳び箱、プールが好き               | 嫌い：7人<br>・運動が嫌い<br>・運動が苦手<br>・体力がない  |
| ②体育ではどんな学習が好きですか（複数回答）         | ・テニスボール・・・5<br>・マット運動・・・13<br>・高跳び・・・3<br>・短距離・・・1<br>・リレー・・・5<br>・サッカー・・・6 | ・ドッジボール・・・11<br>・バスケットボール・・・6<br>・跳び箱・・・22<br>・ハードル・・・2<br>・水泳・・・9<br>・幅跳び・・・2 |
| ③跳び箱は好きですか                     | 好き：26人<br>・跳べた時の達成感があるから<br>・ジャンプするのが楽しいから<br>・いろいろな跳び方があるから                | 嫌い：10人<br>・台上前転ができないから<br>・こわい<br>・跳べないから                                      |
| ④跳び箱運動で、できるようになりたいと思うことや技は何ですか | ・かかえこみ跳び      ・開脚跳び      ・台上前転<br>・首・頭はね跳び                                  |  |
| ⑤跳び箱学習でどんな授業をしてほしいと思いますか       | ・挑戦できる授業      ・楽しい授業<br>・タブレット端末を使った授業<br>・安全な授業      ・跳び方のコツがわかる授業         |  |
| ⑥体育の授業でアドバイスはある方がいいですか         | ・アドバイスはある方がいい<br>・気づいてないところを教えて欲しい<br>・アドバイスを聞くと上手になる                       |  |
| ⑦自分の跳んでいる姿を見たことがありますか          | ・ありません32      ・あります4  |  |
| ⑧跳んでいる姿をすぐにみたいですか              | ・みたい29      ・みたくない4      ・どちらでもない3  |  |

|                              |   |
|------------------------------|---|
| ⑨アドバイスするときに欲しい道具はありますか       | ・タブレット端末      ・ビデオカメラ                   |
| ⑩タブレット端末を使うとどんなアドバイスができそうですか | ・映像を一緒に見ていいアドバイスができそう<br>・細かくアドバイスができそう |

## 5 指導にあたって

跳び箱運動は、非日常的な運動であることから、跳び越すためには感覚づくりが大切になってくる。技を行う際は、技のイメージができて、自分の体の動きがどうなっているかとらえることができない。そんなときにタブレット端末を活用して動画として撮ることで、自分の動きがどうなっているのかをその場ですぐに確認することができる。技の見本やポイントをすぐに確認できるようにし、児童がお互いに動画を見ながら教え合って技に取り組み、それを達成できたときに楽しさや喜びを感じることができるだろうと考える。

本単元では、オリエンテーションで跳び箱学習を進める上での記録の仕方、場の作り方を知らせ、児童ができる技を調べて実態を把握する。そのことを踏まえ、1単位時間の前半で跳び箱に必要な感覚づくりの運動を行い、自分が今持っている力でどんな支持跳び越しができるのかを考え、より上手に跳べる練習をして自信を持たせたい。後半は、もう少し努力すればできそうな技に挑戦する活動を取り入れる。児童が自己の能力にあつためあてに向かって計画的に学習を進めていくために、児童一人一人の思いや願いを受け止めて、技能のつまずきを把握し指導助言をしていきたい。さらに、タブレット端末を活用し、児童がお互いに動画を確認しながらアドバイスを仕合い、自分に必要な動きのポイントを知り、練習の場を選び達成への見通しが持てるようにすることで意欲的に活動すると考える。

### (1) 場の設定の工夫

跳び箱だけでなくセーフティマットやひな壇を利用し、高さへの抵抗感をなくす工夫をする。また、つまずきを克服するための練習の場を設ける。

### (2) 支援の工夫

運動のポイントを掲示したり、自分の跳び方を振り返り確認したりできるようにタブレット端末を取り入れることで、児童が課題を持って活動できるようにする。また、学習カードを活用し、次の課題をみつけて進めるようにする。

### (3) 学び合いの工夫

学習カードを利用して、児童の感想を書かせ自己評価させる。また、児童どうしが克服へのポイントを教え合うことで相互評価をさせる。さらに学習カードを活用して児童の実態を把握し次時の学習にスムーズに取り組めるようにする。

### (4) 跳び箱につながる遊びの紹介

ケンパー跳びや馬跳びのなどの遊びを紹介し、休み時間などを利用した感覚づくりができるように工夫する。

6 単元の評価規準

| 運動への関心・意欲・態度  | 運動についての思考・判断   | 運動の技能  |
|---|--|--|
| <p>① 技を高めたり,新しい技に挑戦したりする楽しさや喜びに触れることができるよう,跳び箱運動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 約束やきまりを守り,友達と助け合って技の練習をしようとしている。</p> <p>③ 器械・器具の準備や片付けで,分担された役割を果たそうとしている。</p> <p>④ 運動する場を整備したり,器械,器具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</p> | <p>① 課題の解決の仕方を知るとともに,自分の課題に合った練習方法や場を選んでいる。</p> <p>② 練習の場や技の練習の仕方を選んだり工夫したりしている。</p> | <p>① 自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越しや回転技,及びその発展技ができる。</p> |

7 単元の評価計画

| 時間 | 主なねらい・学習活動  | 学習活動に即した評価規準   |       |       |
|----|---|--|-------|-------|
|    |   | 関心・意欲・態度   | 思考・判断 | 運動の技能 |
| 1  | <p>1.オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の仕方がわかる。</li> <li>・自分に合った,めあての決め方を知る。</li> <li>・技調べをする。</li> </ul> <p>2.まとめ</p>  | <p>①技を高めたり,新しい技に挑戦したりする楽しさや喜びに触れることができるよう,跳び箱運動に進んで取り組もうとしている。</p> |       |       |
| 2  | <p>1.準備の仕方がわかる。</p> <p>2.準備運動の仕方がわかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな運動してみよう。</li> </ul> <p>3.やってみる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の技に挑戦する。</li> </ul> | <p>③器械・器具の準備や片付けで,分担された役割を果たそうとしている。</p>                           |       |       |

|           |   |   |   |   |
|-----------|---|---|---|---|
| 3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分に合った，練習の場を選び，練習する。</li> </ul> <p>4.まとめ</p>   | ④運動する場を整備したり，器械，器具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。 | ①課題の解決の仕方を知るとともに，自分の課題に合った練習方法や場を選んでいる。 |   |
| 4         |   |   | ①課題の解決の仕方を知るとともに，自分の課題に合った練習方法や場を選んでいる。 | ① 自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越しや回転技，及びその発展技ができる。 |
| 5         |   | ②約束やきまりを守り，友達と助け合って技の練習をしようとしている。           | ②練習の場や技の練習の仕方を選んだり工夫したりしている。            |   |
| 6         | <p>1.こんな運動してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うさぎ跳び，カエル倒立，カエルの足打ち，頭倒立，舞台，ひな壇を使った練習。</li> </ul> <p>2.やってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本の技に挑戦する。</li> </ul> | ②約束やきまりを守り，友達と助け合って技の練習をしようとしている。           | ②練習の場や技の練習の仕方選んだり工夫したりしている。             |   |
| 7<br>(本時) | <p>3.ひろげる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んだ技に挑戦する。</li> </ul>  |   | ②練習の場や技の練習の仕方選んだり工夫したりしている。             | ①自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越しや回転技，及びその発展技ができる。  |
| 8         | <p>4.深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>できる跳び方で技の美しさを追求する。</li> </ul> <p>5.まとめ</p>  |   |   | ①自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越しや回転技，及びその発展技ができる。  |

8 学習における具体の評価規準

|          | A (十分満足できる)   | B (おおむね満足できる)   | 努力を要する子への支援  |
|----------|---|---|--|
| 関心・意欲・態度 | <p>関①<br/>提示された技を理解し、何度も繰り返し試みようとしている。</p>                        | <p>関①<br/>技を高めたり新しい技に挑戦したりする楽しさや喜びに触れることができるよう、跳び箱運動に進んで取り組もうとしている。</p> | <p>関①<br/>やさしい場などを紹介し、跳び箱運動に取り組んで楽しめるように声かけする。</p>           |
|          | <p>関②<br/>常に約束やきまりを守り、友達のよさを認め、励まし合いながら技の練習をしようとしている。</p>         | <p>関②<br/>約束やきまりを守り、友達と助け合って技の練習をしようとしている。</p>                          | <p>関②<br/>約束や決まりを守ることの大切さをわからせ、友達と助け合って技の練習をさせる。</p>         |
|          | <p>関③<br/>常に準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</p>                        | <p>関③<br/>器械・器具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</p>                          | <p>関③<br/>具体的な指示をして、器械・器具の準備や片付けに参加させる。</p>                  |
|          | <p>関④<br/>運動する場を整備し、運動中にも安全に気を配ろうとしている。</p>                       | <p>関④<br/>運動する場を整備したり、器械・器具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</p>                | <p>関④<br/>運動する場を整備したり、保持したりすることの大切さをわからせ友達同士声かけできるようにする。</p> |
| 思考・判断    | <p>思①<br/>自己の能力を知り、見通しをもって自分の課題に合った練習の場や方法を選んでいる。</p>             | <p>思①<br/>課題の解決の仕方を知るとともに、自分の課題に合った練習の場や方法を選んでいる。</p>                   | <p>思①<br/>課題に応じた練習方法や場を示したカードを使い、練習にふさわしい場を選ばせる。</p>         |
| 技能       | <p>技①<br/>自分の力に合った安定したダイナミックな動作で、基本的な支持跳び越し技や回転技、及びその発展技ができる。</p> | <p>技①<br/>自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越し技や回転技、及びその発展技ができる。</p>                  | <p>技①<br/>課題に応じた場と練習方法を再選択できるように声かけする。</p>                   |

9 指導計画

|     | 1   | 2  | 3   | 4   | 5   | 6   | 7 (本時)  | 8   |
|-----|---|--|---|---|---|---|---|---|
| (分) | ☆オリエンテーション  | ☆毎時間の始めにこんな運動してみよう<br>うさぎ跳び, 馬跳び, カエルの足うち, 頭倒立, 舞台を使った練習   |   |   |   |   |   |   |
| 10  | ○記録の仕方がわかる。<br>○自分に合った, めあての決め方を知る。<br>○技調べをする。<br><br>○まとめ | ○準備の仕方がわかる。<br>○準備運動の仕方がわかる。<br>やる.<br>「基本の技」<br>①自分に合った「めあて」と「練習の仕方」を選ぶ。(学習カードに沿って)<br><br>②練習の場で, そこに集まった仲間と教え合ったり協力し合ったりして練習する。 | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! | やる.<br>「基本の技」に挑戦しよう。<br>めあて1<br>自分のできる技をレベルアップさせよう! |
| 20  |   |  |   |   |   |   |   |   |
| 30  |   |  |   |   |   |   |   |   |
| 40  |   |  |   |   |   |   |   |   |
| 45  | 学習カード記入<br>感想発表<br>次時の説明                                    |  |   |   |   |   |   |   |

10 本時の指導

(1) 本時の目標 (7/8)

- 課題の解決の仕方を知るとともに, 自分の課題に合った練習の方法や場を選ぶことができる。

【思考・判断】

- 自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越しや回転技, 及びその発展技ができる。【技能】

(2) 授業仮説

- 友達同士教え合う場において, タブレット端末を活用することで課題を把握することができるであろう。
- めあて2の場面において, 課題に応じた練習方法や場を示したカードを活用することで, 自分に必要な練習方法や場を選ぶことができるであろう。

(3) 準備物

- ①跳び箱・・・5セット ②マット・・・20枚 ③セーフティマット・・・2枚
- ④踏みきり板・・・10枚 ⑤タブレット端末・・・5台 (教師1, 児童4)
- ⑥ひな壇3台 ⑦大型テレビ・・・1台
- ⑧ポイントカード・・・「やる」 「ひろげる」 のポイント紹介カード
- ⑨CDプレーヤーとCD・・・準備運動用(こんな運動してみよう)に使用するテンポのよい曲)

(4) 展開

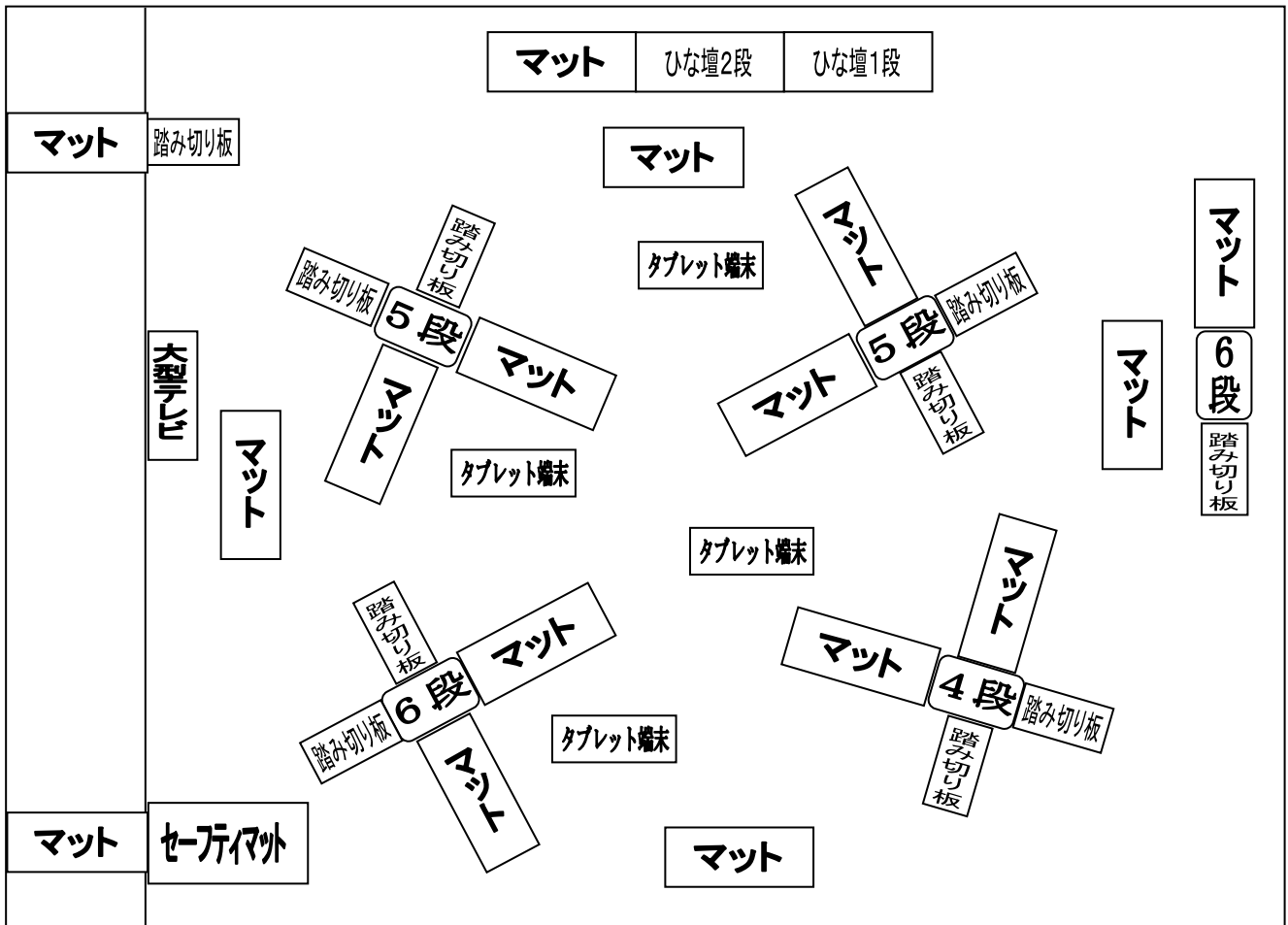
|            | 主な学習活動  | ○指導上の留意点  | 評価     |
|------------|---|---|--------|
| 導入<br>7分   | <p>1 「こんな運動してみよう」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎ跳び</li> <li>・カエルの足うち</li> <li>・カエル倒立</li> <li>・頭倒立</li> <li>・ひな壇を使った練習</li> <li>・舞台を使った練習</li> </ul>   | <p>○音楽に合わせて準備運動,「こんな運動してみよう」をすることで体も気持ちも盛り上げる。</p> <p>○跳び箱の技の達成につながることを意識させながら, 楽しく取り組めるようにする。</p>  |        |
| 展開①<br>10分 | <p>2 めあて1を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて1 自分のできる技をレベルアップさせよう!</div> <p>3 「やってみる」での基本の技に挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開脚跳び</li> <li>・大きな開脚跳び</li> <li>・かかえこみ跳び</li> <li>・台上前転</li> </ul> <p>(タブレット端末を活用し, 動きを確認)</p> | <p>○どんな技を何段で跳ぶか, どんなことに気をつけて跳ぶのかを意識させる。</p> <p>○今できる技をたしかめさせる。</p> <p>○跳び箱を跳ぶときのきまり, 手を上げる, 助走, 踏み切り, 跳ぶ, 着地(両手を上げてポーズ)を確認させる。</p> <p>○自分の課題にあった場で安全に注意して取り組ませる。</p> <p>○それぞれの場所で動画を確認できるようにする。</p> <p>○より大きく美しく跳ぶように声かけする。</p> |        |
| 展開②<br>20分 | <p>4 めあて2を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">めあて2 努力すればできそうな技に挑戦しよう。</div> <p>5 「ひろげる」での進んだ技に挑戦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横跳び越し</li> <li>・首はね跳び</li> <li>・頭はね跳び</li> </ul>   | <p>○自分の課題にあった練習の場で安全に注意して取り組ませる。</p> <p>○基本の技の段階の児童が練習できる場を設定する。</p>  | 思考・判断② |



|       |  |  |               |
|-------|--|--|---------------|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじ曲げ前方倒立跳び</li> <li>・友達同士で教え合う<br/>(タブレット端末を活用し、動きを確認)</li> </ul> <p>6 「ふかめる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる跳び方で技の美しさを追求する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○タブレット端末で自分の跳び方、ポイントを確認させる。</li> <li>○それぞれの練習場所でお互いに教え合うことができるように声かけをする。</li> <li>○今日できるようになった技や、レベルアップした技を紹介する。</li> </ul> | 技①(観察, 学習カード) |
| まとめ8分 | <p>7 学習カードに記入する</p> <p>8 感想発表をする</p> <p>9 次時の説明</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や友だちの頑張りや良いところを認められるように声かけをする。</li> </ul>  |               |

### 1.1 場の設定

めあて1, 2



1 2 授業の実際の様子

| 時 | 学びの課程 今後の計画  | 主な教師の働きかけ  |
|---|--|--|
| 1 | <p>○オリエンテーション。</p> <p>○技調べ。</p>                            | <p>○跳び箱学習におけるの注意点、授業の流れなどを確認し、技のポイント紹介、めあてを決めやすいようにめあて例を掲示した。</p> <p>めあてを決めて学習することのよさについて説明し、例えば「ウルトラマン」なら「どんな技」ができるように「何を」「どのようにして」技をできるようにするか例を挙げ紹介した。同様に「仮面ライダーの場合」、「マブヤーの場合」など関心を持ちやすいように身近なキャラクターでめあてを紹介した。</p> <p>技調べでは、自分のできる技を披露してもらった。また、自分が持っているワークシートに記入させた。</p> <p>ほとんどの児童が抱え込み跳びに挑戦したことがないと答えていたので動画を使って技を紹介した。その際にポイントも一緒に紹介した。</p> <p>1時間でめあてをしっかりと決めることができない児童も多いように感じたのでめあて例を教室に掲示して普段から確認できるようにした。</p>   |
| 2 | <p>○準備の仕方がわかる。</p> <p>○準備運動の仕方がわかる。</p> <p>○基本の技に挑戦する。</p> | <p>○分かりやすいように跳び箱の配置図を掲示。ビニールテープでポイントを打つ。</p> <p>○サーキット（感覚作り運動）の意味を伝える。</p> <p>準備の仕方がわかりやすいように跳び箱などの配置図を掲示して全員で配置した。その際に一緒に準備し、助走にかぶらないか確認した。</p> <p>準備運動の仕方を全体で確認。感覚作りの大切さを伝え、かえるの足打ちやうさぎ跳びなど5種類の動きがどの技の達成につながるかを説明して取り組んだ。その際、リズムに乗って楽しく取り組めるようにテンポのいい曲をかけながらスタートした。</p> <p>第2時では、感覚作りの運動において1つ1つの運動のレベルを上げていかないといけないと感じた。例えばうさぎ跳びでは、手より前に足を運ぶように突き放すことやかえるの足打ちでは、逆さになったときに足を打つ回数を増やせるようにするなどの意識が必要だと感じたので声かけをしていきたい。</p>   |
| 3 | <p>○準備の仕方がわかる。</p> <p>○準備運動の仕方がわかる。</p> <p>○基本の技に挑戦する。</p> | <p>○準備運動（感覚作りサーキット）の意味を伝え、意識するポイントを伝える。</p> <p>○自分のできる技に挑戦できるように声かけする。</p> <p>ポイントを打ってあることで、準備の時間が短くなってきたが全体での動きが鈍いため、どこに何を準備するのか声かけが必要。</p> <p>準備運動（感覚作りサーキット）で跳び箱に必要な感覚が身につくように声かけをしていた。かえるの足打ちでは、足を何回打てるか挑戦してみるように声かけをしている。うさぎ跳びでは自分の手よりも前に足がくるように意識させた。馬跳びではリズムよく跳ぶことや相手の跳びやすい高さに調整してあげることを意識させた。頭倒立では手と頭の位置を教え三角形になるように配置するようにしている。ひな壇の場ではかかえこみ跳びや台上前転のやさしい場として取り組ませた。その結果楽しんで感覚作りの運動をしている。しかし、活動が停滞する場面も見られるので常にそれぞれの場に声かけをしていきたい</p> <p>基本の技に挑戦する場面では、自分のできる技のレベルアップにつながるよう着地や空中姿勢などに気をつけて跳んでいくように声かけをした。膝を曲げてびたっと着地できることで技が完成す</p> |

|   |  |  |
|---|--|--|
|   | <p>ることを伝えている。一人一人の跳んでいる姿を動画で確認していったが時間がかかりすぎて運動量が落ちるので改善が必要である。</p>  |  |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動（感覚作りサーキット）</li> <li>○基本の技に挑戦する。</li> <li>○進んだ技に挑戦する。</li> <li>○今日できるようになった技やレベルアップした技を紹介する。</li> <li>○感想記入，発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚作りサーキットのレベルアップができるようにポイントを伝える。</li> <li>○基本の技では，着地を意識させる。</li> <li>○進んだ技では，どの練習をして挑戦するか，アドバイスしてくれる友達と考える。</li> <li>○できるようになった技，レベルアップした技がある人は帽子を赤にしてみんなに見てもらう。</li> </ul>                              |
|   | <p>感覚作りでは，うさぎ跳びのときに突き放して着地する瞬間に手を叩くことを意識させた。基本の技に取り組む場面では，前回の反省を生かし，跳ぶ時間→動画を確認しアドバイスをする時間→それを受けて跳ぶ時間という流れにした。運動量は落ちないがアドバイスや声かけも流されやすいことが課題としてある。動画を確認する時間に一人ずつ動画を止めてみんなでもアドバイスをしてみる。進んだ技に挑戦する場面では，テレビで見た「サー，タン，パッ，トン」で跳び箱が跳べると言っていたので半信半疑ながら試してみた。すると，開脚跳びができなかった児童が跳べるようになった。他の技でも使えそうなので魔法の言葉として取り入れたい。</p>   |  |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動（感覚作りサーキット）</li> <li>○基本の技に挑戦する。</li> <li>○進んだ技に挑戦する。</li> <li>○今日できるようになった技やレベルアップした技を紹介する。</li> <li>○感想記入，発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚作りサーキットのレベルアップができるようにポイントを伝える。</li> <li>○基本の技では，着地を意識させる。</li> <li>○進んだ技では，どの練習をして挑戦するか，アドバイスしてくれる友達と考える。</li> <li>○できるようになった技，レベルアップした技がある人は帽子を赤にしてみんなに見てもらう。</li> </ul>                              |
|   | <p>準備運動の意識が高くなってきているがまだ，適当に流している児童も見られるため声かけをしていく。基本の技では，跳ぶ時間→動画を確認する時間→跳ぶ時間と流れが定着し，スムーズになった。着地を意識して跳ぶ児童が多くなり「おいしい」や「もう少し」などの声が周りから聞こえている。進んだ技では，魔法の言葉を使い，かかえこみ跳びに挑戦する児童の姿があった。達成できた児童の満足そうな顔が印象的だった。多くの児童が意欲的に挑戦して練習の場を選んでいるが，アドバイスの仕方などのレベルをあげていきたい。教師のタブレットも上手く活用し手立ての必要な児童への支援を心がける。</p> <p>進んだ技の取り組み方で一人一人アドバイスをじっくりしていく方針だったが極端に運動量が落ちるため改善が必要だと感じた。基本の技の取り組み方を参考に考えていく。</p> |  |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○準備運動（感覚作りサーキット）</li> <li>○基本の技に挑戦する。</li> <li>○進んだ技に挑戦する。</li> <li>○今日できるようになった技やレベルアップした技を紹介する。</li> <li>○感想記入，発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○感覚作りサーキットのレベルアップができるようにポイントを伝える。</li> <li>○基本の技では，着地を意識させる。</li> <li>○進んだ技では，どの練習をして挑戦するか，アドバイスしてくれる友達と考える。</li> <li>○できるようになった技，レベルアップした技がある人は帽子を赤にしてみんなに見てもらう。</li> <li>○跳び箱を跳んだ後の戻り方を指導する。</li> </ul> |

準備運動では、うさぎ跳びの着地の瞬間に顔の前で手を打つ動きを繰り返し練習している。かえるの足打ちでは、4回打てる児童もいて周りのいい刺激となっている。頭倒立も補助をしてもらいながら逆さ感覚を身に付けている。ひな壇の場では、かかえこみ跳びの感覚や台上前転の感覚を身に付けている。声かけを継続し、感覚を身に付けられるようにしていく。

基本の技では、跳ぶ時間と動画を確認する時間をはっきりさせたことで運動量が増えている。着地を意識させるために声かけをしている。

進んだ技に挑戦する場面では、基本の技の流れを取り入れ挑戦する時間、動画を確認してアドバイスをする時間、トラブルシューティングを活用し、練習の方法や場を選び練習する時間、挑戦する時間を決めて取り組ませている。大まかな流れを決めたことで運動量も増え、スムーズな流れになった。しかし、授業全体的に時間がかかるため時間の管理が大切だと感じている。